

ニッセイ・ウェルス生命

IT本部 紹介

Contents

01 | 部門紹介

組織紹介

IT本部

IT戦略企画部

ITリスク統括部

ITプロダクト開発部・ITフロント開発部

ITインフラ推進部

東京本社と福岡本社の関係性

02 | 当社ビジネスを支えるためのIT成長戦略

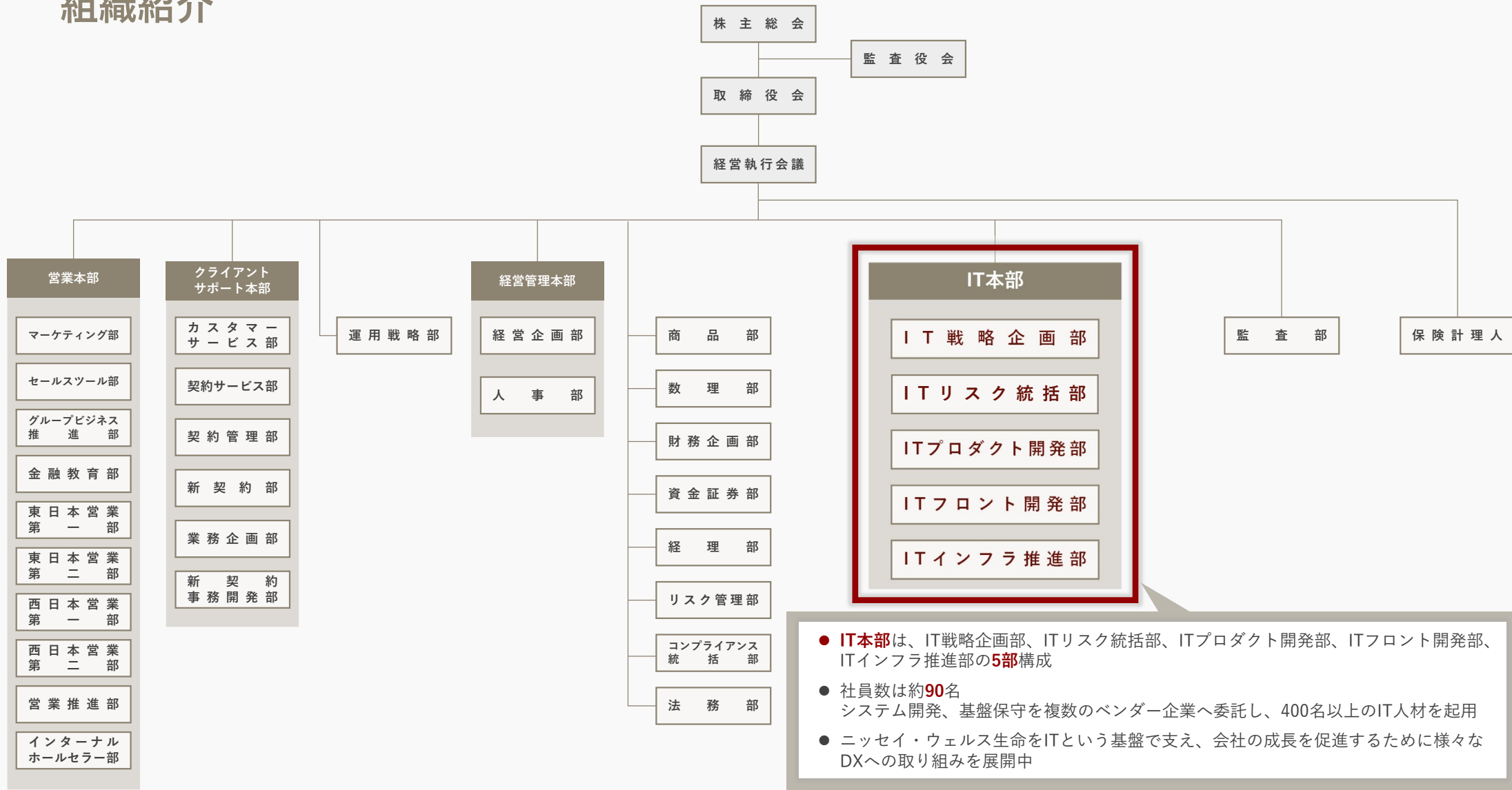
IT成長戦略の構成

当社ビジネスの成長サイクルイメージ

当社におけるデジタル化推進のステップ

01 | 部門紹介

組織紹介



IT本部



IT分野の会社における貢献

業務効率化・生産性向上・コスト削減
など間接的な収益貢献



顧客接点としてのIT活用など
より直接的な収益貢献

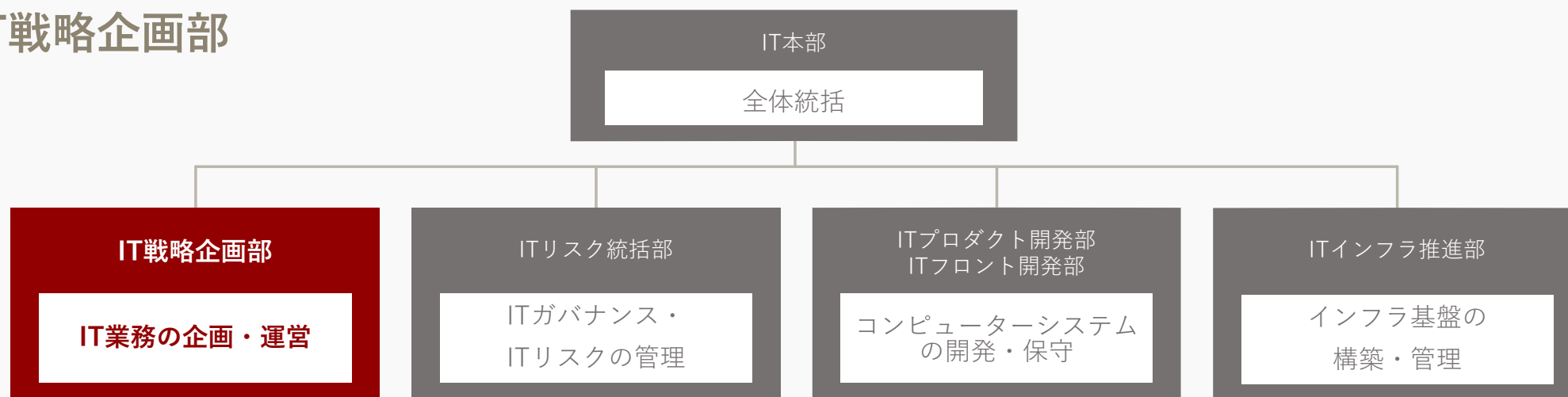
IT本部の役割 | IT部門全体の統括

ITガバナンスのフレームワークに基づいた統括

必要なリーダー育成

戦略の立案・計画

IT戦略企画部



部門の役割 | 経営戦略に基づくIT戦略の実現

中長期IT戦略の企画立案と推進

IT予算の策定と管理

ITプロジェクトの計画と統制

DX推進（データ利活用・AI推進）

上記に加えて…

社外コミュニケーション

日本生命を中心とするグループ各社との連携
同業他社との情報交換 など

ITリスク統括部



部門の役割 | ITガバナンスとリスク管理の高度化

IT業務統制とサイバー対策を含む各種セキュリティリスク管理

上記に加えて…

社外コミュニケーション

日本生命を中心とするグループ各社との連携
同業他社との情報交換 など

ITプロダクト開発部 ITフロント開発部



部門の役割 | 社内および社外(保険代理店)で稼働するシステムの開発および維持管理

契約管理システム

代理店向け保険設計書システム

Web系各種システム

経理会計システム

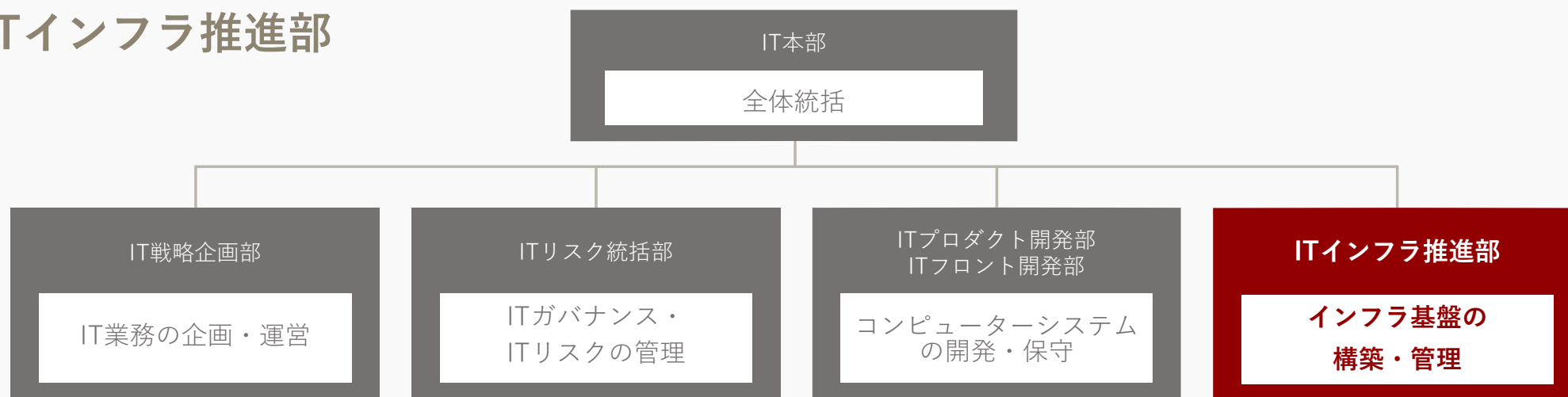
資産運用管理システム

次世代契約管理システム

上記システムの自社開発
+
保守

▶ 社内外に多くのシステム開発会社の要員を抱えて対応

ITインフラ推進部



部門の役割 | 高品質で安定したITサービスの提供

社内PCやAVD(在宅リモートワーク環境等のITサービス)

ITサービスデスクの運用

各種システムで利用しているサーバーマシンの維持保守

インターネット回線を含む社内ネットワークの管理

上記に加えて...

ITコストの最適化

データセンターの効率的な運用

サーバーマシンのクラウド環境移行 など

福岡オフィスと大崎オフィスの関係性

東京本社（大崎オフィス）

IT本部

IT戦略企画部

ITリスク統括部

ITプロダクト開発部

- ・ 契約管理システム第一G
- ・ 契約管理システム第二G
- ・ 契約管理システム第三G
- ・ 次期契約管理システム推進G

ITフロント開発部

- ・ WebシステムG
- ・ 代理店システムG
- ・ IT開発企画G

ITインフラ推進部

- ・ ITサービス推進G
- ・ IT基盤運用管理G



福岡本社（福岡オフィス）

ITプロダクト開発部

- ・ 契約管理システム第一G
- ・ 契約管理システム第二G
- ・ 次期契約管理システム推進G

ITフロント開発部

- ・ 代理店システムG

ITインフラ推進部

- ・ ITサービス推進G
- ・ IT基盤運用管理G



Point

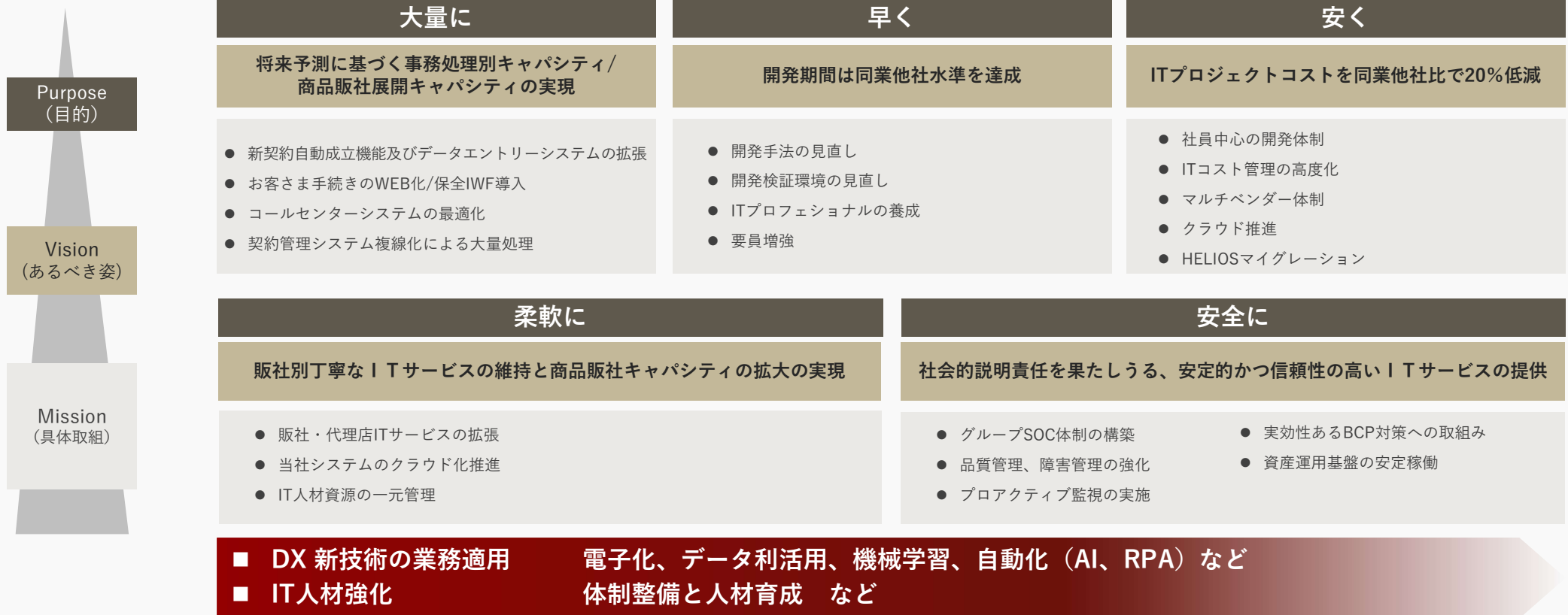
大規模災害の到来を想定し、IT業務が停止しないような二重体制を構築

02 | 当社ビジネスを支えるためのIT成長戦略

IT成長戦略の構成(2024年度からの中長期戦略)

IT領域成長戦略 構成外観

5つのPurpose(目的)実現に向け、Vison(あるべき姿)およびKPI(数量目標)を設定し、Mission(具体取組)を計画的に推進していきます。



当社ビジネスの成長サイクルイメージ

当社ビジネスの成長サイクルの実現に向けて
ITとして対応・検討が必要な事項を策定

1

迅速かつ柔軟な商品提供の実現に向けて、
「**代理店システムの整備・強化**」を実施

▶ 商品・チャネル拡大から保有件数の増大

2

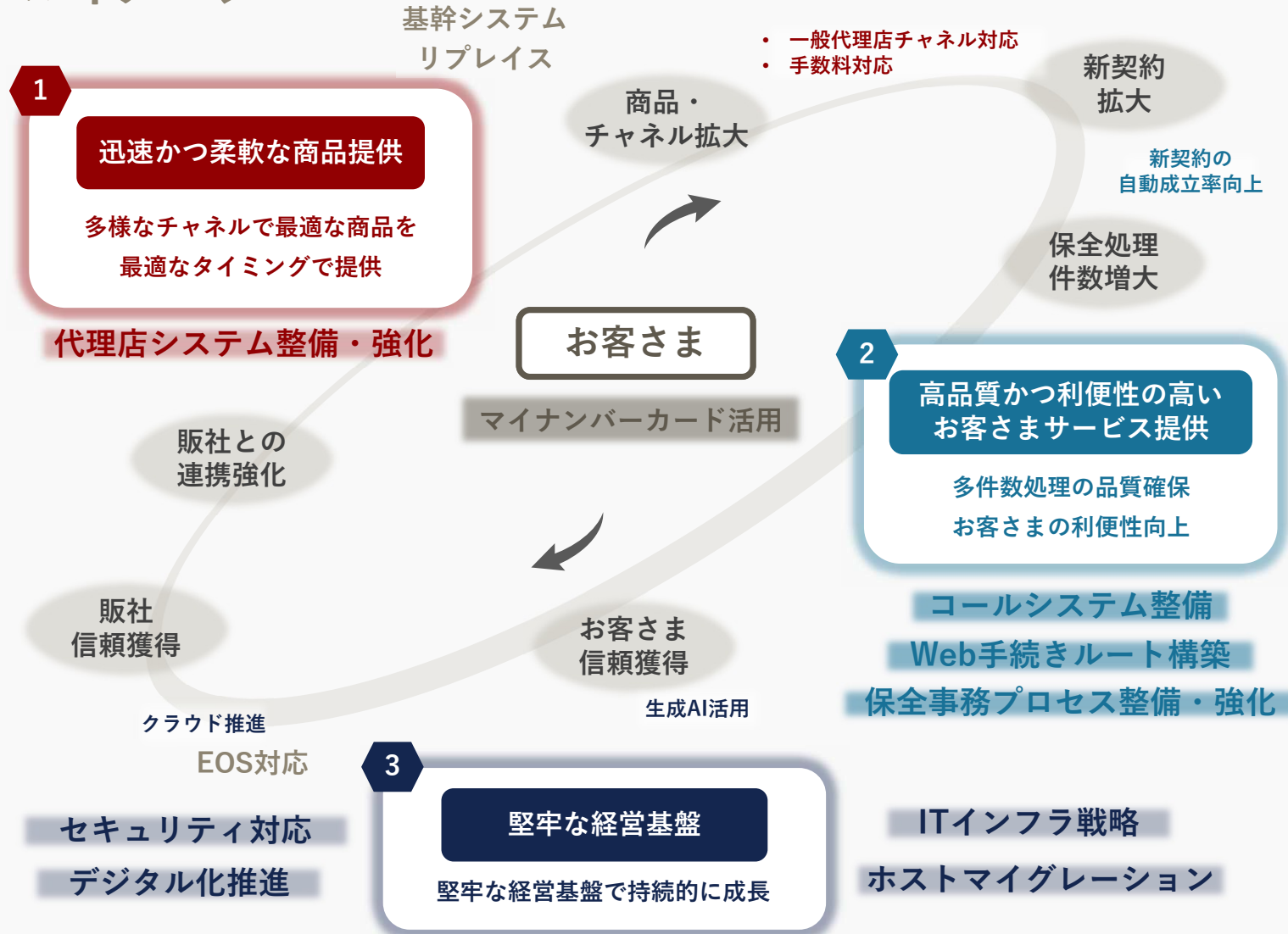
増大した保全件数についても「**コールシステム／Web手続きルート／保全事務プロセスの整備・強化**」を行うことでサービスレベルの維持・向上

▶ お客さま・販社満足度の維持・向上へ

3

堅牢な経営基盤に向けて、「**セキュリティ対応**」や新技術の活用による「**デジタル化推進**」に加え、「**ITインフラ戦略**」、「**ホストマイグレーション**」なども合わせて進める

▶ 当社の持続的な成長へ



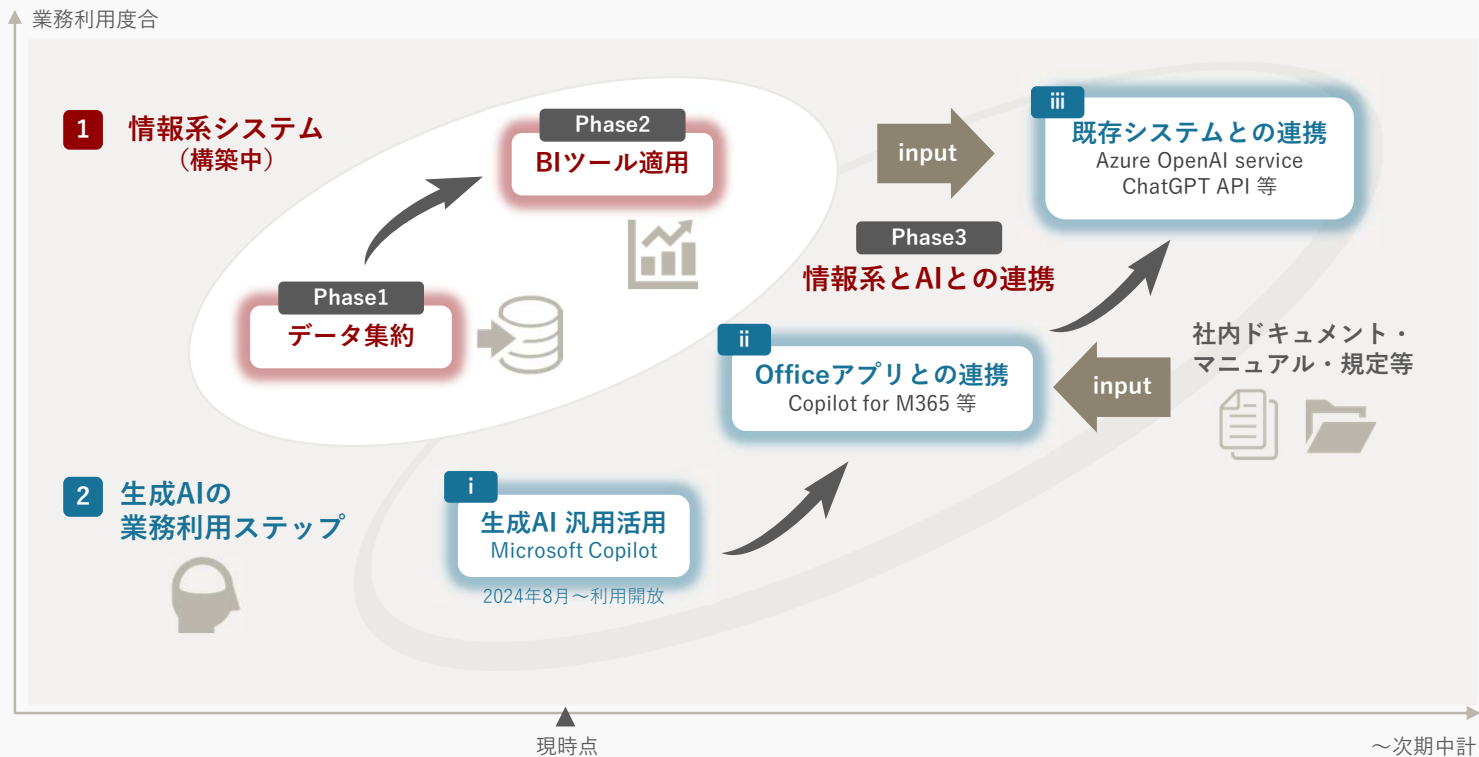
当社におけるデジタル化推進のステップ

次期中計期間内で情報系システムとAIの連携による、企画・販売・オペレーション業務の効率化や品質向上を目指す。

- 1 社内データ集約・活用
(情報系システム構築中)
- 2 生成AI「Microsoft Copilot」
利用開放中
(2024年8月～)

生成AIの業務利用について

- 各ユーザー部門において、現在利用開放している「Microsoft Copilot」の操作性や有効性を確認し、有効なユースケースの検討・共有を進めていく。
- IT部門では、AIに関する他社ナレッジ等を紹介。今後、ユーザー部門でのAI活用・検討状況を踏まえて、更なる業務利用拡大（上位ステップ）を、ユーザー部門と協議していく。



生成AIの業務利用 ステップ毎の利用イメージ

ステップ	生成AIの業務利用イメージ
i 生成AI 汎用活用	一般的な質問に対する回答、文書校正・添削、翻訳等
ii Officeアプリとの連携	マニュアルや約款、規定などをもとに、対話による支援
iii 既存システムとの連携	情報系システムと連携、企画・販売での活用や、お客さまの属性・契約情報等を踏まえた問い合わせに対する回答・レコメンドなど対話による支援

